

和歌山病院での実習を終えて



串 雅紀

今回は呼吸器内科のポリクリ実習の一環として、御坊にある和歌山病院で二日間にわたって実習をさせていただきました。まず南方先生をはじめとする今回授業をしていただいた多くの先生、忙しい中、時間を割いていただきありがとうございました。

今回和歌山病院で実習をさせていただき感じたことは、大学で行っているポリクリでどれだけ自分の頭を使わずに過ごしていたか、でした。和歌山病院で南方先生の実習をさせていただく前は頭を働かせて一つ一つの科を勉強しているつもりでいたのですが、今回の実習を通して、頭を使うことがどういうことなのか明確になり、これからのポリクリも含め、自分の医師になってからも頭を使って分析力を磨いていけると思いました。特に二日目のブロンコ体操からのセミナーは体も使って頭も使って、記憶に残るものとなりました。

また駿田先生の結核についてのセミナーも深く印象に残りました。まず N95 マスクは授業でよく耳にするものであり、知識としては得ているものでしたが、実際つけてみる経験がありませんでした。しかし今回和歌山病院で初めてつけさせていただくことができ、結核病棟にも入ることができました。N95 マスクは装着してみると自分が思っていたよりも息苦しく、実際に結核の患者さんを相手に医療行為を行う際にはなかなか大変だなと率直に思いました。

今回和歌山病院で二日間実習させていただき、本当に楽しく充実したものでした。自分の頭に油をさすような学習ができたことを本当に感謝しています。今回の実習で得た知識などを用いて、これからのポリクリをより充実したものにしようと思いました。